

オペラの魅力を味わおう①

年 組 番名前

1 「オペラ」と聞いて何をイメージしますか。

2 オペラを聴いて、音楽的な特徴を感じ取ろう。

「オペラ名」 演奏形態	音楽の特徴 (音色・旋律・強弱等)	どんな感じがしたか 音楽的な特徴と関連させて書こう
「トゥーランドット」 誰も寝ては ならぬ テノール独唱		
「魔笛」 夜の女王 のARIA ソプラノ独唱		
「アルシエの イリュージョン」 七重唱・合唱		

3 オペラ「アイダ（ヴェルディ作曲）」より「凱旋の場」を観て感じたことを書こう。

音楽的な特徴・どんな感じがしたか	音楽以外のことで気づいたこと・感じたこと

オペラの魅力を味わおう②

年 組 番名前

1 「アイーダ」の物語を確認しよう。第2幕第2場「凱旋の場」の登場人物のせりふを 読んだり歌ったりして、音楽と登場人物の心情の関わりを感じ取ろう。

○アイーダ： 「わが思う人は奪い去られて、

(ソプラノ) 残されて、われ一人悶(もだ)える 悲しい」

(もはやいかなる希望が私に残されてるの？ あの方には栄光と王座が……。

私には絶望の愛の涙が……)

○アムネリス：「ああ、このうれしさ何にたとえよう。

(メゾ・ソプラノ) 心に長く抱いていた望みは、今、叶った」

(私は思いがけない喜びに酔いしれているのだわ。私の心に抱く夢が、一日のうちにすべて叶ったわ)

○ラダメス：「わが幸は崩れ、望みは消えても、命にかけても、われは捨てじ(ない) アイーダを」

(テノール) 「思わぬ痛手に、我が胸は悩む」

(なんという思いがけない雷が、私の頭上に落ちる……。

ああ、嫌だ。エジプトの王座も、アイーダの心ほどの値打ちはないのだ)

○アモナズロ：「まだ、いちろの望みは消えぬ、やがて盛り返すときがこようぞ」

(バリトン) (元気を出して、気を強く持つのだ。祖国にとって喜びの結果を待て。

恨みを晴らすめどはついている。ただチャンスを待つのだ)

2 それぞれの登場人物の心情を理解し、声の音色・旋律・強弱等の特徴を感じ取ろう。

登場人物 (パート)	アイーダ (ソプラノ)	アムネリス (メゾ・ソプラノ)	ラダメス (テノール)	アモナズロ (バリトン)
音楽の特徴 ・ 声の音色 ・ 旋律 ・ 強弱等				
どんな感じが したか ・ 音楽的な特徴と 心情を関連させて 書こう				

オペラの魅力を味わおう③

年 組 番名前

1 オペラ「アイーダ」のダイジェストを鑑賞し、オペラの音楽の特徴とその効果（雰囲気）について書こう。

①実際に登場人物の台詞を読んだり歌ったりしたことを基に書くこと。

②登場人物の声やオーケストラの音色、旋律の特徴、強弱などに関して、具体的な例を挙げながら書くこと。

2 「オペラのよさや魅力」は何だと思いますか。

学習してきたことを基に、下記の項目と関連させながら、考えを書いてください。

①登場人物（歌手）の表現とオーケストラの関係

②オペラにおける音楽の役割と他の芸術との関係

③オペラがイタリアを中心にヨーロッパで発展してきたこととの関係（歴史・文化）